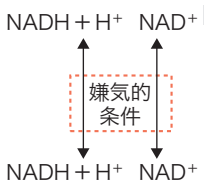
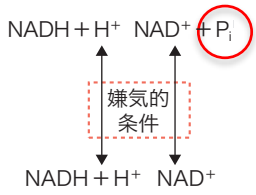
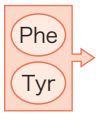
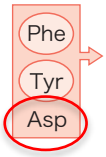
羊土社 YODOSHA

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2023年1月13日）

■第3版　第3刷（2020年8月20日発行）の修正・更新箇所

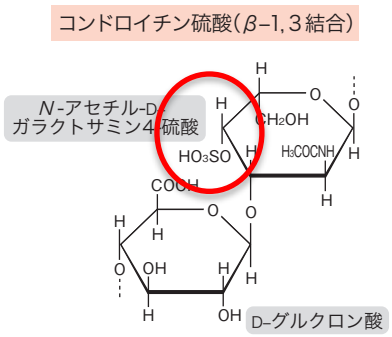
※第1刷からの修正箇所はhttps://www.yodosha.co.jp/correction/9784758113557_corrections.pdf をご参照

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第２章					
21	本文　下から2行目	フィッシャー投影式または	フィッシャー投影式（あるいはフィッシャー・トレンス式）または	赤字部分を追加	23/01/13
24	本文　上から3行目	スクロースは	スクロース〔α-D-グルコピラノシル-(1→2)-β-D-フルクトフラノシド〕は	赤字部分を追加	23/01/13
25	図5			※1を参照	22/02/25
25	図5			※2を参照	23/01/13
第３章					
30	表1 ①のA	（例：コレステロール）	（例：エステル型コレステロール）	赤字部分を追加	20/12/25
30	表1 ③のB	コレステロール：生体膜，	遊離型コレステロール：生体膜，	赤字部分を追加	20/12/25
第５章					
52	本文　上から9行目	阻害物質は，基質結合部位以外に結合して阻害するので，基質濃度を高めても阻害はなくならない．	基質が酵素に結合すると酵素の構造が変化し，阻害剤が酵素活性部位とは別のところに結合することでさらに酵素の構造が変わり生成物が酵素活性部位から出にくくなり反応速度が落ちる．また，基質濃度を高めても阻害はなくならない．		21/07/02
第９章					
81	図1	SGLT	SGLT1	図中2カ所訂正	20/12/25
83	図2			P_iを追加（赤丸で囲んだ箇所）	20/12/25
83	図2			※3を参照	23/01/13
91	本文　上から5行目	**グルカノトランスフェラーゼ活性**	**4-α-グルカノトランスフェラーゼ活性**	赤字部分を追加	20/12/25
93	本文　上から8行目	応で**フルクトース 1,6-ビスリン酸**となる．	応経路を進み**フルクトース 1,6-ビスリン酸**となる．		20/12/25
第10章					
106	図1			※4を参照	23/01/13
第11章					
125	図2【03　】の右側	⇄ アセト酢酸 → ケトン体	○ アセト酢酸 → ケト原性	赤丸で囲んだ箇所を訂正	23/01/13
125	図2			Aspを追加（赤丸で囲んだ箇所）	20/12/25

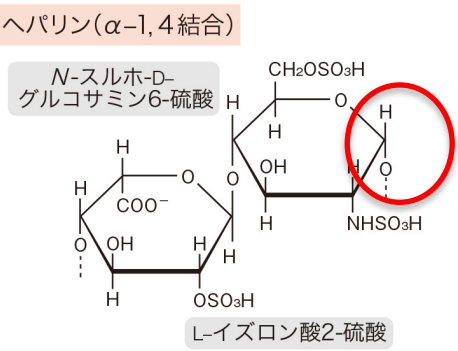
128	図4【03　】の右側	→ リンゴ酸	→ リンゴ酸 → リンゴ酸	リンゴ酸を追加（赤丸で囲んだ箇所）	23/01/13
第15章					
177	本文上から7行目	7 ポリペプチド鎖合成反応	7 ポリペプチド鎖合成反応（真核生物）	赤字部分を追加	22/02/25
177	本文上から17行目	eIF2/eIF56の複合体が	eIF2の複合体が	赤字部分を削除	22/02/25
177	本文下から7行目	eEF1α	eEF1A		22/02/25
178	本文上から5～6行目	eEF1α	eEF1A	2箇所訂正	22/02/25
178	図6			※5を参照	22/02/25
179	図7	eEF1α	eEF1A	図中4箇所訂正	22/02/25
187	図12			※6を参照	20/12/25
187	図12　説明文	a）ビタミンAは細胞内の酵素によって構造変換されてレチノイン酸となった後，レチノイン酸結合タンパク質を介して核内のレチノイン酸受容体（retinoic acid receptor：RXR，retinoid X receptor：RAR）に結合する．これがビタミンA受容体応答配列に結合して標的遺伝子の発現誘導に関与する．	a）レチノール（ビタミンA）は，細胞内に取り込まれた後，細胞内の酵素によってレチノイン酸に構造変換される．核内においてレチノイン酸受容体（retinoic acid receptor：RAR）に結合し，RXR（retinoid X receptor：レチノイドX受容体）とともにレチノイン酸応答配列に結合して標的遺伝子の発現誘導に関与する．	差し替え	20/12/25

図表

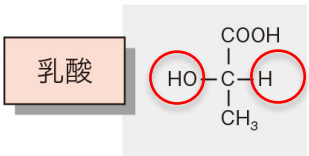
※1　赤丸で囲んだ部分を修正しました



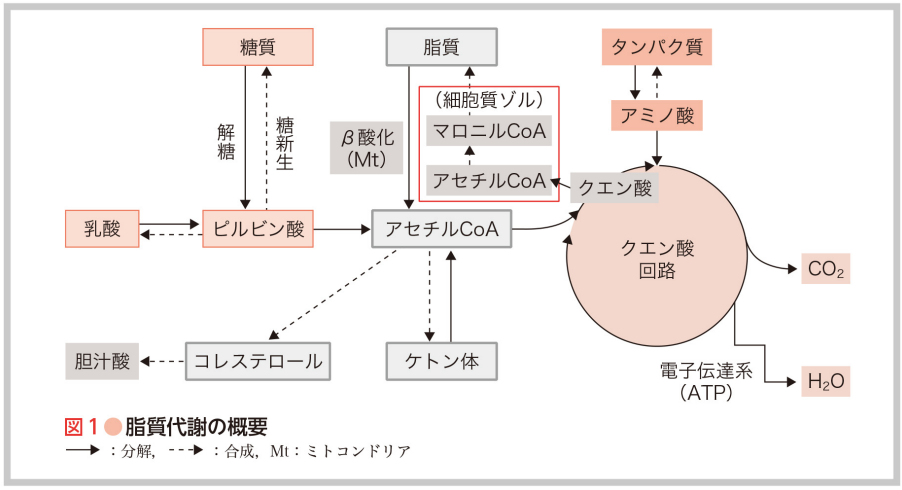
※2　赤丸で囲んだ部分を修正しました



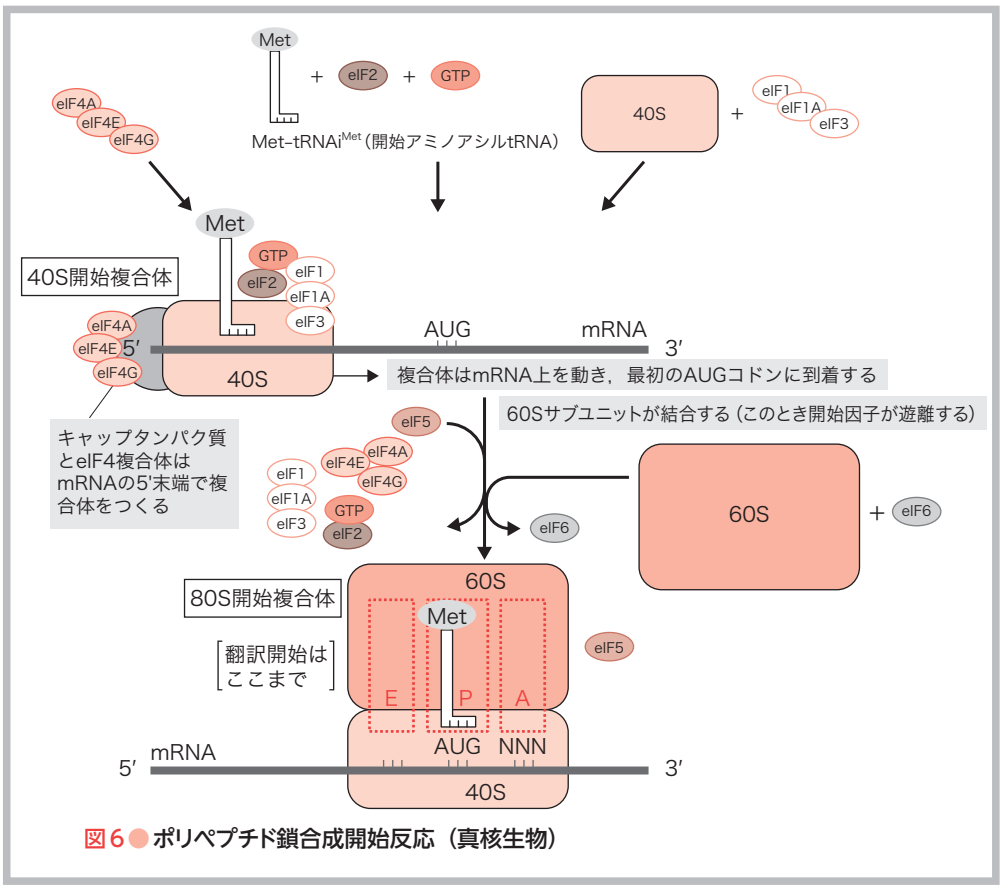
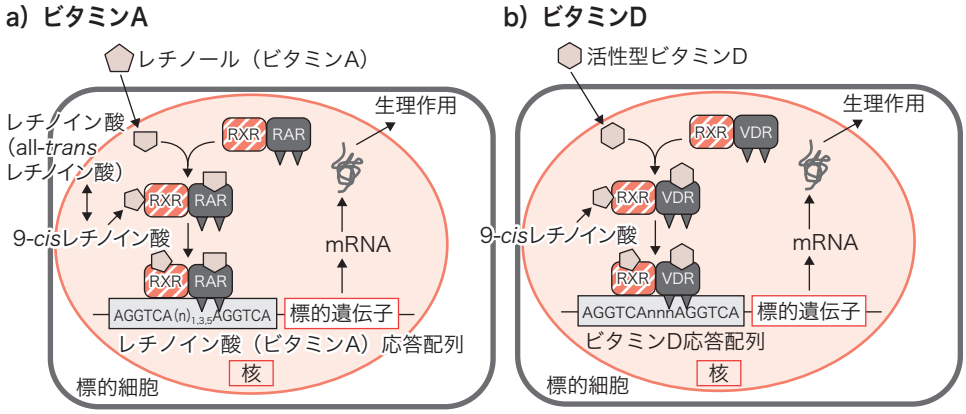
※3　赤丸で囲んだ部分を修正しました〔D体からL体（L-乳酸）の構造に訂正いたします〕



※4 クエン酸回路上にクエン酸を追加し、脂質へ合成される工程に情報を追加しました。また、β酸化の下に「Mt」、図説明に「Mt（ミトコンドリア）」を追加しました



※5 図、図タイトルを変更いたします



※6 図説明文の修正に伴い図を訂正いたします